

2007 年度

科目名 文化財学課題研究（仏教文化の研究）	対象学科・学年 研究科前文1回生 研究科後文1回生	担当者 梯 信暁
授業テーマ 日本浄土教の研究		
授業の概要と目標 奈良時代から鎌倉時代までの日本浄土教の展開を概観します。各時代を代表する著述を紹介し、その撰述意図を明らかにすることが目標です。紹介する著述は、時代をリードする、ずば抜けて進歩的な思想を示すものですが、その著者を支えていたのはあくまでもそれぞれの時代を流れる「思潮」だったと言えます。仏教学の方法を用いて教理の構造を解明するとともに、歴史学・文学・美術史学などの方法を取り入れて時代の「思潮」を求め、各文献が著された必然性を求めてゆきます。		
評価方法 授業中の発表（50%）・レポート（50%）		
テキスト プリントを配布します。	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. オリエンテーション：講義の目標と内容の概説 2. 浄土教概論 3. 奈良時代の浄土教：時代の概観 4. 智光『無量寿経論釈』の特徴 5. 智光の念仏思想 6. 平安初期の浄土教：常行堂と不断念仏 7. 平安中期の浄土教：摂関貴族の信仰 8. 良源の活動と著述 9. 良源『九品往生義』の念仏思想 10. 千観伝の新資料 11. 千観『十願発心記』の特徴 12. 禅瑜の立場 13. 禅瑜『阿弥陀新十疑』の諸問題 14. 源信の活動と著述 15. 源信『往生要集』の組織 16. 源信『往生要集』の念仏思想 17. 源信『往生要集』の諸問題 18. 院政期の浄土教：来迎信仰の展開 19. 『安養集』の成立 20. 『安養集』と『往生要集』 21. 『安養集』研究の意義 22. 天台宗における浄土教義科の形成 23. 永観の活動と著述 24. 永観『往生拾因』の諸問題 25. 珍海の活動と著述 26. 珍海『決定往生集』の諸問題 27. 法然の生涯と著述 28. 法然教学の特徴1 29. 法然教学の特徴2 30. まとめ		